



市民課窓口風景

●「活力ある市民のまち」づくりへ向けて

地方自治体の基本理念は住民自治、つまり住民による住民のための行政にあります。市民も多様化し年々増大しつづける行政ニーズに的確にスピーディに応えるよう努力しています。

しかし国における臨調、行革、都における補助費の削減など、市をとりまく諸情勢はかつてないほどに厳しくなっています。そのためこれからは、市民の理解と協力を得ながら、「市民のための効率行政」「活力ある市民のまち」づくりへ向けて努力していきます。

効率的な行政運営では、都や近隣市町と協力しあいながら諸施策を行ない、また施策推進に当っては市の都市計画等をふまえながら長期的視野にたった施策を行なっています。

一方、「市民参加」の行政をすすめるために、施設は市がつくる、運営は市民の主体性でやるといった市民、行政一体化をはかり、かつ役割分担しながら運営していくというシステムも検討していく必要があります。

市民参加の まちづくり

行財政の確立



四役打合せ、右から田村匡雄市長、古谷徳男助役、高水求収入役、森田猛教育長

●議会は市民の声を生かして

本市には市民の代表として選ばれた議員が24名おり、年4回定例会を開催して、市の施策、予算を審議するほか、市民から寄せられた請願・陳情等を行政にいかしていくために審査します。また必要に応じて臨時議会が開かれます。

さらに議員は、総務、建設、厚生各常任委員会のいずれかに属して、本会議からまかされた議案や請願・陳情等をより詳しく審査し、また日常活動や研修をしています。そのほかに基地を抱える本市には、横田基地特別委員会があり、問題の対応に当たっています。



議長 田村市郎



副議長 高水惣八



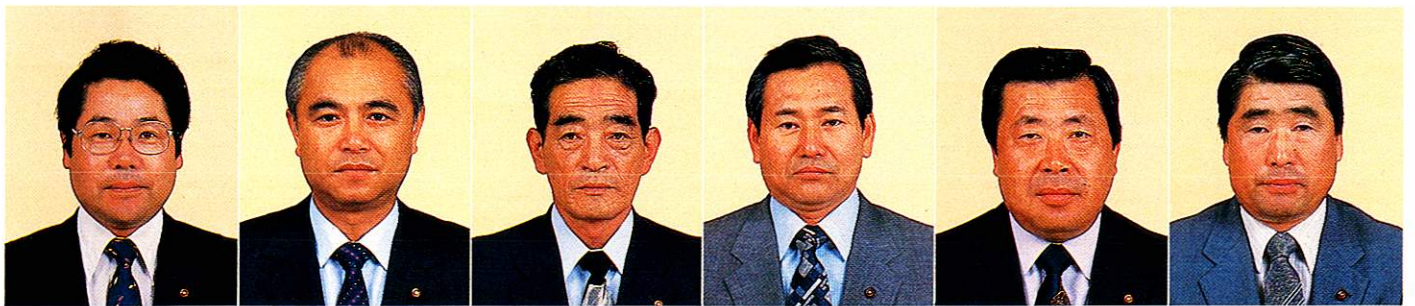
熱心に審議される議会



林田 武 在原 博 村野 和一郎 石川 泰一 赤星 行人 齋藤 巽



井上 寅吉 石川 保 上野 重勝 木村 徳藏 原 敏子 遠藤 洋一



小野沢 久 仲村 清信 加藤 謹之助 東田 正治 堀川 實 宮沢 良一



指田 保雄 村尾 栄次 森田 治男 関 米吉

福生市議会議員（議席番号順）

●厳しい財源を有効に活用して

本市の財政規模は、他市と比べてみても遜色ないものの、市民1人当たりの市税はきわめて低く、自主財源に乏しいといえます。そのため、その多くの財源は、国庫支出金をはじめとする依存財源であり、財政基盤はきわめて弱い財政構造です。

このような脆弱な財政基盤のなかで多種多様な市民の要望にこたえていくためには、財源の確保に積極的に努めるのみならず、支出面での効率性を発揮するために、計画的な財政運営にもとづく重点的な配分をはかり、市民生活の向上に還元するよう努力しています。

昭和58年度一般会計当初予算

